

わたしたちもがんばっています！

世代をつなぐ小野まると保全向上対策協議会 代表 森岡 治平（日野町）

蒲生郡日野町小野は、日野町の北東部で鈴鹿山脈より琵琶湖に流れ込む水の源流部に位置する、戸数30戸、農家戸数18戸の集落です。山間部ですので、猪、鹿などの害獣が多く、全長約9kmのワイヤーメッシュ柵に囲まれた約26haの農地で活動を行っています。狭い水田や変形田も多く決して作業効率が良いとはいえませんが、粘土質の土壌でおいしいお米が生産できる場所です。

本集落では平成19年度に“まると”の活動組織を設立し、今年度で7年目となります。活動は、当初の5年間については、長年の土砂の堆積でかなり荒れた状態の排水路の泥上げや老朽化した用水路の補修が中心となりました。泥上げに重機も使って徹底的に清掃を行いきれいな状態を取り戻しました。すべて構成員による作業なので大変な部分も多いですが、きれいになった排水路を見て「この状態を維持していかなければ」、「自分たちの施設を大事に使

編集後記

★ソチオリンピックが閉幕しましたが、中学生から41歳までのメダリストが誕生しました。メダルが取れても取れなくても、力を出し尽くした選手の表情やコメントに、多くの感動をもらいました。（A.W）

わなければ」等の意識が強くなったように思います。平成24年度よりの新たな5年間についても、今までの取り組みは継続しつつ、補修が必要な場所も多く残っているので計画的に進めようとして取り組んでいます。

また、自治会の協力を得ての総出による、ため



池等の草刈や農道整備、各種団体に呼びかけての農道のごみ拾いや環境整備の活動、小中学生を主な対象とする蜚の学習観察会を地域のつながりや環境に対する意識の向上の一助となれるよう継続して行ってきました。

“まると”の活動を行う中で、個人の努力だけではできなかったことが、多くの人が集まることで達成できるようになった場面が多々ありました。規模の小さな集落、活動組織

ではありますが集落の農地を保全する為に今後も活動を継続していきたいと思っています。



田んぼだいすきふるさと農村こども絵画コンクール受賞作品



★知事賞
『おじいちゃんと畑』
里見 玲さん（甲賀市）



★県教育長賞
『楽しくみんなで田植え』
寺井 芽生さん（栗東市）



★地域協議会長賞
『未来のH(畑)D(ダイニング)K(キッチン)』
前嶋 一成さん（長浜市）

滋賀県世代をつなぐ農村まると保全地域協議会

- 本協議会は、活動組織への支援や、採択手続き、交付金の交付事務などを行っています。
- 書類作成にかかる参考資料や活動事例などの情報をホームページでお知らせしています。

農村まると

検索

<http://www.shiga-nouson-marugoto.com/index.html>

Email: kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

まるとだより 第28号

にぎわいある農村をみんなで守り育てよう



目次

☆『にぎわう農村フォーラム2014』を開催しました

☆平成25年度 第3回『農村まると保全技術研修会』を開催しました

☆「世代をつなぐ農村まると保全向上対策」の制度が変わります

☆新たな「世代をつなぐ農村まると保全向上対策」の概要

☆わたしたちもがんばっています！
「世代をつなぐ小野まると保全向上対策協議会」（日野町）

発行（2014. 3）

滋賀県世代をつなぐ農村まると保全地域協議会

〒521-1224

東近江市林町601番地

電話 0748-42-4806

FAX 0748-42-5574

Email: kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

『にぎわう農村フォーラム2014』を開催しました

平成26年2月1日（土）、近江八幡市の県立男女共同参画センターで『にぎわう農村フォーラム2014』を開催したところ、県内外から約250人の参加をいただき、大盛況の内に終えることができました。

◆表彰式◆

応募総数982点の「田んぼだいすきふるさと農村こども絵画コンクール」応募作品の中から選ばれた、知事賞、県教育長賞、地域協議会長の各受賞者と、「にぎわう農村フォトコンテスト」に応募いただいた118点の応募作品の中から選ばれた、グランプリ1点、準グランプリ2点、入選9点の各受賞者の方々の表彰式を行いました。

◆基調講演◆

地元学ネットワーク主宰の吉本哲郎様より『地域資源を活かした農村の活性化』と題して基調講演をいただきました。「地域振興は無い物ねだりではなく、ある物を探して磨いていくことが大切です。」というお話しをしてくださいました。詳細な内容は、地域協議会のHPをご覧ください。

◆パネルディスカッション◆

基調講演の吉本様、「朱鷺と暮らす郷づくり」を推進しておられる新潟県佐渡市農林水産課長の渡辺竜五様、「たかしま生きもの田んぼ米」に取り組んでおられる糟貝晃雄様、嘉田知事の4名によるパネルディスカッションを行い、『人も生きものにもにぎわう農村づくりに向けた展望』というテーマで、それぞれの立場による熱い意見交換をいただきました。

平成25年度 第3回『農村まると保全技術研修会』を開催しました

平成25年11月1日（木）から12月11日（水）の間に、県内各地7箇所において、農道舗装の簡易な補修について」をテーマに『農村まると保全技術研修会』を開催しました。

各地域とも、地域の皆様にも実践可能な舗装の傷み具合別の補修方法を講師の先生よりご紹介していただいた上で、農道補修作業を実際に体験いただきましたので、いつもの研修会以上に熱心に取り組んでいただけたように思います。



講師の兼光さん（右）と山脇さん



ひび割れの補修作業



常温合材による穴の補修作業

「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」の制度が変わります！

平成26年度より、国の制度変更に伴い「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」の内容が少し変更されます。下記の内容について、ご注意くださいお願いします。

- 1. 活動は今までと同じで4月1日からスタートしてください。
- 2. これまでの「共同活動」が「農地維持支払」と「資源向上支払」という2つに区分されます。
- 3. 向上活動は、今までと変わりません。
- 4. 活動については、これまでと同様に「活動記録」として活動日、実施時間、参加された方のお名前や人数などは記録しておいて下さい。
- 5. 活動に対しての日当やお茶、その他活動のために使用した資材などの支払があった場合は、必ずこれまでと同様に「領収書」を保管しておいてください。
- 6. 単価について（今後、国から提示される内容等によっては変わる場合もあります。）
 - 1) 共同活動（標準型）でこれまで下記の単価だった地区は ※水田の場合
これまで 2,400円/10a当たり → 農地維持支払 2,200円+資源向上支払1,300円
合 計 3,500円/10a
 - 2) 共同活動（水質保全型）で下記単価だった地区は ※水田の場合
これまで3,300円/10a当たり → 農地維持支払 2,200円+資源向上支払1,800円
合 計 4,000円/10a

農地維持支払

【対象者】
農業者のみ又は農業者及びその他の者（地域住民、団体など）で構成する活動組織

【対象活動】

- ・農地法面の草刈、水路の泥上げ、農道の路面維持などの地域資源の基礎的保全活動
- ・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保全管理構想の作成など



水路法面の草刈り



水路の泥上げ



ため池の草刈り



新体制の拡充等構想作成

資源向上支払

【対象者】
農業者及びその他の者（地域住民、団体など）で構成する活動組織

【対象活動】

- 地域資源の質的向上を図る共同活動
標準型：「水路、農道、ため池の軽微な補修」「生きものや排水の調査」などを行います。
環境保全型：標準型にプラスして環境保全の増進を図る活動を行います。
- 施設の長寿命化のための活動



水路のひび割れ補修



排水の透視度調査



魚道の設置



水質浄化池の泥上げ

新たな「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」の概要

平成25年度まで

平成26年度から

（単価表の単位：円/10a）

農地維持支払交付金

共同活動支援交付金

農地・水路等の資源の日常管理と、農村環境の保全のための活動

	標準型	水質保全型
田	2,400	3,300
畑	1,500	2,100
草地	200	300

農地維持支払交付金

農地・水路、農道などの地域資源の基礎的保全活動

	単価
田	2,200
畑	1,500
草地	180

資源向上支払交付金

向上活動支援交付金

○ 高度な農地・水の保全活動

・地域環境の保全に資する高度な保全活動

○ 施設の長寿命化のための活動

・農地周りの施設の長寿命化のための補修・更新など

	単価
田	4,400
畑	2,000
草地	400

○ 農地・水・環境保全組織の取組

・農地・水・環境保全組織の設立等：40万円/組織

・地域資源保全プランの策定：50万円/組織

農地維持支払交付金

農地・水路、農道などの地域資源の基礎的保全活動

	単価
田	2,200
畑	1,500
草地	180

○ 地域資源の質的向上を図る共同活動

・標準型

水路、農道などの簡単な補修、農村環境保全活動

・環境保全型

標準型+環境保全の増進を図る活動

	標準型	環境保全型
田	1,300	1,800
畑	800	1,080
草地	120	180

高度な農地・水の保全活動のH25までの採択組織は、従前と同様に支援

★一緒に取り組んでください

	標準型	環境保全型
田	3,500	4,000
畑	2,300	2,580
草地	300	360

○ 施設の長寿命化のための活動

→現行制度と同じ

・農地周りの施設の長寿命化のための補修・更新など

	単価
田	4,400
畑	2,000
草地	400

○ 農地・水・環境保全組織の取組

→現行制度と同じ

・農地・水・環境保全組織の設立等：40万円/組織

・地域資源保全プランの策定：50万円/組織

※内容は今後変わる場合があります。

にぎわう農村フォトコンテスト“2014”受賞作品



★クランプリ
『魚道づくり』
種 清志さん（近江八幡市）



★準グランプリ
『苗が見えないよ』
吉田 清次さん（守山市）



★準グランプリ
『みなさん整列しましたね』
小西 良和さん（東近江市）